

平成 27 年度岩手県政策評価委員会

(開催日時) 平成 28 年 2 月 10 日 (水) 14 : 00～14 : 50

(開催場所) マリオス 183・184 会議室

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 議 事
 - (1) 委員長、副委員長の選任について
 - (2) 各専門委員会委員の指名について
 - (3) 平成 27 年度政策評価等の実施状況及び各専門委員会の開催状況等について
(報告)
 - (4) 平成 27 年度の政策評価結果等の政策等への反映状況について (報告)
 - (5) 「いわて県民計画」第 3 期アクションプランについて (情報提供)
- 4 閉 会

委員

伊藤歩委員、宇佐美誠史委員、遠藤一子委員、小笠原敏記委員、
小山田サナエ委員、加藤徹委員、工藤昌代委員、斉藤徹史委員、佐々木幹夫委員、
島田直明委員、西田奈保子委員、西出順郎員長、林謙志委員、山本清仁委員

1 開 会

<事務局から開会宣告>

2 挨 拶

○政策推進室小野評価課長 それでは、開会に当たり、政策地域部長の大平から御挨拶申し上げます。

○大平政策地域部長 岩手県政策評価委員会の開会に当たりまして、一言御挨拶申し上げます。

委員の皆様には、県政の推進に当たり御支援、御協力賜り、心から感謝申し上げます。また、大変お忙しい中、委員をお引き受けいただき、本日御出席いただきまして改めて御礼申し上げます。

本県におきましては、本格復興から復興計画の総仕上げにつなげるとともに、人口問題に関しましては、ふるさと振興と表現しておりますが、その対応を進めるため、いわて県民計画の第 3 期アクションプランを先日 2 月 8 日に策定、公表いたしました。県民計画の目指す「希望郷いわて」の実現に向け、全県を挙げて取り組んでいるところであります。

また、同日「本格復興完遂予算」と名づけた平成 28 年度当初予算案を公表いたしました。この予算に基づく事業を効果的に執行し、復興を着実に推進していくため、取組の成果を検証し、事業の質を高めていくということが求められており、この中で評価制度が果たす

役割は非常に重要であると考えております。

本日は委員改選後初めての委員会となりますが、皆様にはよろしく御審議をお願いいたしますとともに、今後におきましても本県の評価制度の適切な運用に向けましてさまざまな角度から御意見、御指導賜りますようお願い申し上げます。なお、新しい取組として、幸福度指標などという試行的な取組も行うこととしてございます。そちらの面でも皆様方からの御意見もいただくことになろうかと思っております。お願いばかりで大変申し訳ございませんが、私の御挨拶に代えさせていただきます。本日はよろしくお願い申し上げます。

○**小野評価課長** 委員の皆様のお手元に辞令書をお配りしております。本委員会は、知事の諮問機関ですので、本来であれば知事からお一人お一人に辞令書をお渡しするべきところでございますが、このような形とさせていただきますことについて御了承いただきますようお願いいたします。

なお、委員の任期でございますが、政策等の評価に関する条例の規定により平成28年2月1日から平成30年1月31日までの2年間となっておりますので、よろしくお願い申し上げます。

それでは、本日は委員改選後初めての会議となりますので、まず私から委員の皆様を五十音順で恐縮でございますが、御紹介させていただきます。

初めに、秋山信愛委員でございます。本日はご都合により欠席されております。

それから、泉桂子委員でございます。本日はご都合により欠席されております。

伊藤歩委員でございます。

○**伊藤委員** 伊藤です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

○**小野評価課長** 宇佐美誠史委員でございます。

○**宇佐美委員** 宇佐美です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

○**小野評価課長** 遠藤一子委員でございます。

○**遠藤委員** 遠藤でございます。よろしくお願い申し上げます。

○**小野評価課長** 小笠原敏記委員でございます。

○**小笠原委員** 小笠原です。よろしくお願い申し上げます。

○**小野評価課長** 小野澤章子委員でございます。本日はご都合により欠席されております。

小山田サナエ委員でございます。

○**小山田委員** 小山田です。よろしくお願い申し上げます。

○**小野評価課長** 加藤徹委員でございます。

○**加藤委員** 加藤でございます。よろしくお願い申し上げます。

○**小野評価課長** 工藤昌代委員でございます。

○**工藤委員** 工藤でございます。よろしくお願い申し上げます。

○**小野評価課長** 河野達仁委員でございます。本日はご都合により欠席されております。

越谷信委員でございます。本日はご都合により欠席されております。斉藤徹史委員でございます。

○**斉藤委員** 斉藤でございます。よろしくお願い申し上げます。

○**小野評価課長** 佐々木幹夫委員でございます。

○**佐々木委員** 佐々木です。よろしくお願い申し上げます。

- 小野評価課長 島田直明委員でございます。
- 島田委員 島田と申します。よろしくお願いいたします。
- 小野評価課長 西田奈保子委員でございます。
- 西田委員 西田です。よろしくお願いいたします。
- 小野評価課長 西出順郎委員でございます。
- 西出委員 西出でございます。よろしくお願いいたします。
- 小野評価課長 林謙志委員でございます。
- 林委員 林でございます。どうぞよろしくお願いいたします。
- 小野評価課長 平井寛委員でございます。本日はご都合により欠席されております。山本清仁委員でございます。
- 山本委員 山本です。よろしくお願いいたします。

〔事務局から委員 20 名中 14 名の出席により会議が成立する旨の報告〕

3 議 事

(1) 委員長、副委員長の選任について

- 小野評価課長 それでは、次に議事に入ります。

政策等の評価に関する条例の規定により、会議の議長は委員長が務めることとされておりますが、本日は委員改選後最初の委員会でございますので、委員長が決まりますまでの間、暫時政策地域部政策推進室政策監の高橋が議長役を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

- 政策推進室高橋政策監 政策推進室政策監の高橋でございます。委員長が選任されますまでの間、暫時議事を進めさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

議事の1つ目、委員長及び副委員長の選任について議題といたしますが、条例の規定により委員長及び副委員長の選任は委員の互選によることとされております。互選の方法ですが、いかなる方法で互選するかお諮りいたします。

- 高橋政策監 御意見がなければ、事務局からの指名推選の方法によることとしてよろしいかお諮りいたします。よろしいでしょうか。

「はい」の声

- 高橋政策監 それでは、事務局から推薦をお願いいたします。

- 小野評価課長 事務局といたしましては、前任期の副委員長、西出順郎委員が委員長に最も適任かと思われますので、推薦いたします。また、副委員長は前任期の公共事業評価専門委員会の委員長の伊藤歩委員を推薦いたします。

- 高橋政策監 ただいま事務局から委員長には、西出順郎委員、副委員長に伊藤歩委員の

推薦がありました。御異議ございませんでしょうか。

「異議なし」の声

○高橋政策監 それでは、委員長に西出順郎委員、副委員長には伊藤歩委員がそれぞれ選任されました。委員長、副委員長はよろしくお願いいたします。

それでは、西出委員長には委員長席にお移りいただき、以後の議事の進行をお願いいたします。

○西出委員長 ただいま委員長を拝命いたしました岩手県立大学の西出でございます。専門は政策評価を、あと大学評価も行っていますが、評価関連の研究を行っています。ぜひとも皆様方のお力をお借りいたしまして、この委員会、さらには専門委員会に自由な御意見いただき、評価委員会といえますか、評価のシステムをより実効性の高いものにしていければと考えております。皆様のお力添えをよろしくお願いいたしますと思います。

(2) 各専門委員会委員の指名について

○西出委員長 それでは、早速ですが、議事に入らせていただきたいと思います。

(2) 各専門委員会委員の指名についてでございます。これにつきましては、条例の規定で政策評価専門委員会、公共事業評価専門委員会、そして大規模事業評価専門委員会、この3つの専門委員会が設置されておまして、その委員につきましては、条例の規定により委員長が指名することとなっております。それで、僭越ではございますが、私から指名をさせていただきたいと思います。

まず、政策評価専門委員会です。6名の方になりますが、申し上げます。遠藤委員、小野澤委員、工藤委員、斉藤委員、西田委員、そして私西出、この6名で委員を運営していきたいと思っております。

続きまして、公共事業評価の専門委員会、こちらも6名です。泉委員、伊藤委員、小笠原委員、林委員、平井委員、そして山本委員、こちらの6名の委員の方々をお願いいたします。

最後、大規模事業評価専門委員会です。こちらは8名の方をお願いします。秋山委員、宇佐美委員、小山田委員、加藤委員、河野委員、越谷委員、佐々木委員、そして島田委員、この8名の方をお願いしたいと思います。

以上のおりでございますが、各委員の皆様、御異議ございませんでしょうか。

「異議なし」の声

○西出委員長 それでは、各委員の皆様方には、よろしくお願いいたしますと思います。

(3) 平成27年度政策評価等の実施状況及び各専門委員会の開催状況について（報告）

○西出委員長 では、次に移ります。報告事項、議事の（３）、平成 27 年度政策評価等の実施状況及び各専門委員会の開催状況について、事務局から説明をお願いします。

〔資料 No. 1 により小野評価課長説明〕

○西出委員長 ありがとうございます。ただいまの事務局からの説明につきまして御質問等ございますでしょうか。この後の専門委員会の中で具体的な話をさせていただくこともあろうかと思いますが、全体委員会として各委員の皆さんから全体的に共有しておく必要があるのではないかというようなものがあれば御意見をいただければと思いますが、いかがでしょうか。

「なし」の声

○西出委員長 では、また後ほど全体的にいただくことといたしまして、次に移ります。

（４）平成 27 年度政策評価結果等の政策等への反映状況について（報告）

○西出委員長 次に、議事の（４）ですね、政策評価結果等の政策等への反映状況について、お願いできますか。

〔資料 No. 2 及び参考資料 No. 1 により小野評価課長説明〕

○西出委員長 ありがとうございます。それでは、ただいまの説明につきまして何か御質問等ございませんでしょうか。もしくは感想等をお聞かせいただければと思いますが、いかがですか。

「なし」の声

○西出委員長 では、次に移ります。「いわて県民計画」第 3 期アクションプランについてということですが、これは皆さん御承知のとおり、先ほどお話ありました 2 月 8 日公表で、多分 10 月、11 月にかけて非常に御苦勞なさったことと思いますが、これまでの第 2 期アクションプランを評価・検証した上で、今後のアクションプランをつくったということ、そして、来年度からはこちらのアクションプランが一つのベンチマークとなって評価をする見込みと、このようなマネジメントサイクルの中の位置づけにアクションプランはあります。したがって、事前にここで情報をいただいておりますという意図があると、このように考えていただければと思います。

それでは、事務局のほうから説明をお願いします。

〔参考資料 No. 2 により高橋政策監説明〕

○西出委員長 ありがとうございます。それでは、ただいまの事務局の説明に対して、何か質問、御意見ございませんでしょうか。

私から1つ質問といたしますか、ちょっと感想をお聞かせいただきたいのですが、よろしいですか。

今回の第3期のアクションプランの作成に非常に御尽力なされたと思いますが、その中で、今指標の話も出ましたが、第2期のアクションプランの指標を見ていくと、かなり玉石混淆といたしますか、非常に的を射たものもあれば、指標としていかがかと考えさせられる部分もあったと思うのですが、第3期において、行政活動を指標であらわすというのを完全に求めること自体は非常に難しいということは重々承知しているところですが、それを前提としても、作業の過程において、2期に比べればかなりクオリティとして上がったのではないかとこのところに関してコメントといたしますか、感想をちょっとお聞かせいただきたいと思います。いかがでしょうか。

○小野評価課長 アクションプランの作成におきましては、評価を通じて第2期アクションプランの指標の問題点、課題等について、担当の部局等とも協力しながら把握し、また、この政策評価専門委員会の中でも指標についての御指摘等もいただきながら、それらを踏まえて第3期アクションプランにできるだけ100%というのはなかなか、先ほど委員長からもお話があったのですが、難しいところはございますが、一つには政策の成果を示すのにふさわしい指標、それからもう一つ難しい問題といたしまして、それらの指標についての水準の問題がありますが、それらについて指標、政策ごとにチェックをしながら取りまとめておりますので、向上しているとは考えております。その過程におきましては、42の政策項目ごとに体系図といったものをつくりました。これは、一番上の目指す姿がありまして、それについている指標がある。それから、具体的な推進方策があつて、それにもまた指標がついている、そして事務事業がそれらの下にぶら下がってくるというようなことですが、それぞれの関係について、担当するそれぞれの部局、そして私ども政策推進室として、42の政策項目ごとにチェックをして、一部部局とも相談しながら見直し等を行っているということですので、平成28年度の評価の中で、また個々の部分まずいところもあるといった御指摘もあろうかとは思いますが、かなりの部分でそういった体系立てで整理をいたしまして、見直しを行っているものであります。

○西出委員長 ありがとうございます。今回の第3期アクションプランのマネジメントサイクルでしばらく回していくわけですから、前回の親委員会で私は発言させてもらいましたが、サイクルを回すという意味で、特に指標の目標値と実績値がどうのこうのというプラスアルファでいかにギャップが生じたか否かという要因分析を各事業セクションの皆さんにはお願いしたいと。そして、その中で、政策評価レポートにかける分量という意味で限られた中で全てを記述することは難しいと思いますが、少なくともエッセンス的なことは積極的に説明責任の一環として記述をしていって欲しいと常に切に私は願っている。そして、その内容が現状として余り変わらないのかもしれないが、少なくとも外部の人間から見てコピペだと思われないうところはしっかりと注意してもらいたい。昨年専門委員会の中でいろいろと議論させてもらいましたが、あえて内容的に変わりがなかったと

いう点もあるとは思いますが、説明責任として外部に見せる以上は、その辺は襟を正して、緊張感を持って記述することに対して臨んでもらいたいと切に思います。

あと一つは、よく仄聞するのですが、震災の話です、5年たって仄聞するのは、ここではなくて、岩手県から出たというか、東北から出たところです。今まで投入した予算に対して評価が必要ではないか、というのが至るところで、非公式なところですが、仄聞します。したがって、多分いつかはよくわかりませんが、ある時期が来たら必ず東北のほうの震災にかけた予算に対してしっかりと使われていたのか否かというところの検証は求められると思います。東北から自発的にではなくて、別のベクトルから。そういうところを踏まえた上で、検証作業というものがうまくいく、いかないというのは、さまざまな外部要因がありますので、いつないからどうのこうのという議論はさておきながら、説明をするということに関してはかなり敏感に慎重に丁寧に考えていていただきたい。震災後の復興の話ですね、そのことを私としてはコメントとして伝えていきたいと思っています。ほかに質問ございませんでしょうか。

「なし」の声

○西出委員長 その他として全体として承ります、アクションプラン以外にも含めて何かありましたら。いかがでしょう。

時間的に若干ありますので、せっかくですから、どなたか何かいかがですか。私としては、議論の場では積極的な議論を皆さんに望んでいるというところもあるのですが。

島田委員どうぞ。

○島田委員 アクションプランの政策編の政策推進目標というのを7つ挙げられたというお話があったのですが、それと7つの政策というあたりの関係性がよくわからなかったのです。もしかしたら御説明いただいたのを聞き逃したのかもしれませんが、この関係がどうなっているのか、完全に7つの政策というものの別に目標を立てられたのか、それとも7つの目標の中のさらに推進目標のほう、7つの目標を上手に組み立てると7つの推進目標につながるのか、その辺の関係性がよくわからないような気がしました。

○小野評価課長 7つの政策につきましては10年間の長期計画であります「いわて県民計画の長期ビジョン」という冊子、本日はお配りしておりませんが、これの中で3つの分野、そしてその下に7つの政策をぶら下げまして、10年間を通じてこの7つの政策を推進していくと。そして、その下に第1期から今回の第3期までの3つの期の取組をそれぞれのアクションプランでやっているわけですが、その第1期、第2期、第3期ごとに異なる政策推進目標を掲げてやっております。ですので、政策推進目標については、10年間ではなく、その中の各期で特に緊急的な取組あるいは重要な取組、目標を掲げて、これらを中心にこの4年間やっていきますという特出しといいますか、特に重要な目標ということで掲げているものでございます。その中でも、例えば人口ですとか、県民所得あるいは雇用環境といったものにつきましては、ある意味総合的な目標値、指標と考えておまして、人口、県民所得については7つの政策どれということではなく、これらの全体を推進することに

よって、人口なり、県民所得の向上等につながっていくといったもの、それ以降の地域医療等につきましては、7つの政策のいずれかに特に関係している目標といったことをごさ
いまして、それについてはこの政策推進目標のもう少し具体的な目標としての目指す姿、
指標あるいは具体的な政策推進目標、指標等がございますので、それらと密接に関係して
いるといったことで、この7つの政策目標自体も先ほどお話ししたように上の3つぐら
いは極めて総合的な目標であると、そちらについてはこの4期目において特に頑張ってい
きましょうというような整理をしております。

○西出委員長 よろしいですか。

○島田委員 ありがとうございます。県民目線から見ると2つ目標があるように見えて
しまうかもしれないので、その辺の書きぶりといいますか、そういうふうきちんと書い
てくださるとか、説明してくださるとよくわかると思いました。

○西出委員長 ありがとうございます。
その他何かございますか。

「なし」の声

○西出委員長 以上をもちまして、議事を終了させていただきます。御協力ありがとう
ございました。
それでは、事務局のほうにお返しいたします。

○小野評価課長 西出委員長ありがとうございました。

4 閉 会

<事務局から閉会宣告>